

# 衆議院議員 池田元久の活動報告 ACTION report

SUMMER 2005

## 中台の紛争は平和的に解決を 陳水扁台湾総統と会談

池田元久代議士は、民主党日本台湾友好議員懇談会の会長として台湾訪問団を率い、05年4月28日台北の総統府を訪問し、陳水扁総統と会談した。

中国は、今年3月、台湾の分離が現実になる場合『非平和的方法』をとるとした反国家分裂法を制定したが、その直後、台湾の最大野党国民党の代表が訪中し中国側と交流促進などで合意した。

池田団長は「紛争はあくまで平和的に解決すべきである」と述べるとともに、台湾の一体性が損なわれることに憂慮していることも表明した。これに対して、

陳総統は「政党ではなく、台湾の政府が代表して、中国と話し合う考えである」と強調した。この他、野党親民党幹部とも会談をし、忙しい中にも充実した台湾訪問となった。

小泉総理の言いっぱなし、やりっぱなしの外交によって、日本外交は完全に行き詰っている。このままでは日本の国連常任理事国入りは望むべくもなく、東アジアで地域全体の平和と繁栄を目指す共同体作りなど全く見通しが立たない状況にある。

その意味で政権交代をめざす民主党として、経済力を伸ばしつつあるアジアの国々と密接な対話を継続しておくことは重要であり、池田代議士は今後も中国をはじめアジア諸国との積極的な対話を進めていく考えです。



台北の総統府において陳水扁台湾総統と会談

## 鶴ヶ峰南口の再開発事業 2年後の完成めざし、いよいよ着工



鶴ヶ峰南口再開発ビル(仮称)  
完成予想図

相鉄鶴ヶ峰南口を再開発するための再開発組合は昨年の設立以来、着々と事業を推進し、解体工事なども滞りなく進み、6月7日安全祈願祭が催され、いよいよ本体工事が始まることとなった。

計画では総事業費151億円をかけて、鶴ヶ峰南口の7700平方メートルの敷地に低層部は店舗、高層部は約250戸の住宅が入る地上29階地下1階のビルを建設し、周辺には低層の駐車場ビル、南北連絡橋などを配置することになっている。

池田元久代議士は、来賓として冒頭に「これまでの23年間の関係者の努力が実り、2年後に108mのタワーが横浜西北部のランドマークとして完成する。横浜の都市開発がみなとみらい、関内への集中から多極分散型へとかわる第一歩となることを期待する。」とあいさつした。



安全祈願祭で挨拶する池田元久代議士